

2024年健康起因

1. 疾病別の件数

脳疾患	15件	【疾病別】
心疾患	20件	脳疾患：くも膜下出血、脳内出血等
大血管疾患	5件	心疾患：心筋梗塞、心不全等
その他	107件	大血管疾患：大動脈瘤及び解離
合計	147件	その他：上記以外

2. 個別事案の概要

	発生日時	業態	疾病別	概要	運転者の年齢	管轄支局
1	1月3日 13:52頃	法人	脳疾患	乗客を乗せ実車運行中、当該運転者の容体が急変、異変に気付いた乗客の指示により路肩へ停車した。乗客が降車した後、当該運転者は意識が混濁し始め、偶然通りかかった一般車両の運転者が当該運転者の異変に気付き救急車を要請、救急搬送された。意識混濁の原因はくも膜下出血。（運転者死亡）	62	東京
2	1月4日 18:29頃	乗合	その他	空車運行中、運転者は貧血症状を感じた事から終点に到着した際、営業所へ無線で報告をした。報告を受けた運行管理者は、運行を中断してその場で待機するよう指示した。体調不良の原因は突発性めまい。	54	埼玉
3	1月6日 14:44頃	乗合	その他	運転者は車椅子利用者の乗車補助を実施後、スロープ板を格納する際に腰を痛めたが我慢して運行を継続していた。その後、途中停留所での降車扱い時、痛みを我慢していたことから気分が悪くなり運行の継続が難しいと判断し、運行管理者へ電話連絡を行い救急車の手配を依頼した。運行管理者の指示により乗車中の乗客へ状況を説明し後続の車両へ乗車するよう案内したうえで運行を中断した。体調不良の原因は腰痛に起因するもの。	47	千葉
4	1月6日 15:09頃	乗合	その他	出庫時には体調に異変はなかったものの、昼休憩以後体調に異変を感じはじめ、急激に発汗や吐き気といった症状が現れたため途中停留所へ停車した際、無線で営業所に報告した。これを受け、運行管理者は運行中止及び後続車両への乗客誘導を指示した。体調不良の原因は胃腸炎。	53	東京
5	1月7日 12:19頃	乗合	心疾患	停留所からの発進時、胸に急激な痛みを感じたため直ぐに路肩に寄せて停車し、乗客へ体調不良のアナウンスを行い、営業所へ無線で報告した。運行管理者よりその場で待機するよう指示を受け、乗車中の乗客には後続のバスへ乗り換えるよう案内し運行を中断した。体調不良の原因は急性心筋梗塞。	53	千葉
6	1月10日 12:39頃	乗合	その他	実車運行中、停留所に停車する手前で胸に痛みの症状が現れたため直ちに停車し、乗客に説明した後、車外にて運行管理者へ連絡をしようとしたが、症状が急激に悪化し話もできない状態に陥った。これに気付いた乗客が営業所に電話連絡を行い、営業所が手配した救急車で救急搬送された。体調不良の原因は胆石発作。	59	神奈川
7	1月11日 4:00頃	乗合	その他	高速乗合バスが運行中、途中のPAにて運転を交替した当該運転者は、運転を開始して間もなく急に気分が悪くなり吐き気を催したことから路肩に緊急停車し嘔吐した。痛みはなかったが吐血を伴い体調が回復しなかった為、もう一名の運転者と運転を交替し、最寄りのSAへ移動した後、運行管理者へ報告した。その後、運行を継続し次のSAまで移動したが体調が戻らなかった為、救急車を要請し救急搬送された。体調不良の原因は胃潰瘍。	52	神奈川
8	1月14日 17:31頃	貸切	その他	実車運行中、運転者の様子がおかしいことに気付いたツアー添乗員が営業所に連絡、バスを一旦停車させた。運行管理者が電話にて状況を確認した結果、運行の継続は困難と判断し、警察と救急に救急要請を実施した。体調不良の原因は糖尿病による低血糖に起因する高次脳機能障害。	55	東京
9	1月18日 23:05頃	貨物	その他	配送からの帰路の途中、給油所にて給油・休憩（仮眠）を取った後、運行を再開して間もなく急激な発汗を感じたことから窓を開け運転していたところ、左折予定であった交差点の100m位手前で意識を喪失、車両はそのままの状態で行き交差点手前左側の田圃に転落した。運転者に事故によるケガは無く、現地で意識も回復し、営業所に事故の連絡を行った。意識喪失の原因は新型コロナウイルス感染症と脱水症状によるもの。	44	栃木
10	1月23日 14:38頃	乗合	その他	運行中に突然咳が出始め、次の停留所で降車扱い後には吐き気も催したことから運転者は運行継続が困難と判断し営業所へ連絡を実施した。連絡を受けた運行管理者は、同場所待機を指示し予備の運転者を派遣するなどの対応を行った。体調不良の原因は風邪症状。	47	神奈川
11	1月24日 6:19頃	貨物	心疾患	一般道を直進していたところ、交差点手前から徐々にセンターラインへ寄って走行し始め、そのままの状態でもセンターラインを越え、前方から直進してきたトラックと正面衝突した。当該車両は前方右側が大きく破損、対向車は右側側面全体を破損した。この事故により当該運転者が死亡、対向車の運転者が軽傷を負った。死因は急性心筋梗塞。（運転者死亡）	53	神奈川
12	1月24日 12:30頃	乗合	その他	運行計画に沿って運行中、発熱を感じたため終点にて降車扱い後、持参した携帯用検温器で検温したところ38.3度であったため運行継続困難と判断し営業所へ報告した。これを受けた運行管理者は、同場所待機を指示し予備の運転者を派遣するなどの対応を行った。体調不良の原因は風邪症状。	47	神奈川
13	1月29日 16:17頃	乗合	その他	終点に到着した際、頭の動きが鈍く感じたことから営業所へ連絡し、自身の体調を報告するとともに、休憩後の乗務を外して欲しい旨を申し出た。連絡を受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は花粉症による急激な体調悪化。	54	埼玉
14	2月2日 23:40頃	法人	その他	片側2車線道路の第二通行帯を走行中、運転者が一時的に意識を喪失、車両は中央分離帯及び左方にて停車中の車両に接触しながら走行を続け、交差点内に進入した後、ガードレールに衝突して停車した。この事故による怪我人はなし。意識喪失の原因は不明。	71	東京

15	2月3日 4:30頃	法人	その他	運転者は右脇腹に激痛が走るも営業運行を継続していたが、痛みが我慢出来なくなったため路肩に停車し、自分自身で救急車を手配し病院へ搬送された。痛みの原因は尿管結石。	31	東京
16	2月7日 17:05頃	貨物	心疾患	全ての配送完了後、帰庫するために走行中、運転者が突然意識を喪失し運転不能の状態に陥ったため、車両が道路左側の田んぼに転落した。この事故により、運転者が救急搬送されたが、意識喪失に至った詳細は不明。	70	栃木
17	2月8日 4:36頃	法人	その他	乗客1名を乗せ高速道路を約90km/hで走行中、運転者が下血を伴う貧血を起こしたため、運転操作を誤り側壁等に衝突しながら走行した後、ガードレールに衝突し停車した。体調不良の原因は大腸がんによる貧血。	64	東京
18	2月10日 2:30頃	法人	その他	営業を終了し休憩した後、営業所に戻るため高速道路に乗り入れたところ、吐き気を催したため、車両を高速道路出口付近に停車させて運転者自身が救急車を要請し病院に搬送された。体調不良の原因は胃潰瘍。	72	東京
19	2月10日 20:15頃	乗合	その他	折返場に到着後、腹痛及び吐き気を感じたため次発の運行ができない旨を無線で営業所に連絡した。連絡を受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因はウイルス性胃腸炎。	27	埼玉
20	2月15日 4:00頃	法人	その他	営業所へ帰庫するために運行中、胃の下部に激しい痛みを感じつつも運転していたが、意識が朦朧としてきたため路肩へ停車し営業所に報告した。連絡を受けた営業所の担当が現場へ急行し、運転者と車両を引き上げ営業所に帰庫した。運転者は営業所へ到着後も体調が回復しなかったことから、救急車を要請し病院へ搬送された。腹痛の原因は不明。	41	東京
21	2月21日 15:40頃	貸切	その他	学校の送迎運行において1便目の降車場所に児童を降ろした後、学校に戻り2便目運行前の待機中、突然体調が悪くなったため、その場にいた同じ営業所の運転者に助けを求め救急車を要請してもらい搬送された。体調不良の原因は首の血管からの出血。	69	千葉
22	3月7日 12:26頃	貸切	その他	最初の目的地へ向かう途中に頭痛と吐き気を感じたため目的地に到着し乗客の降車後、待機場所に移動してから営業所へ報告した。この際、当該運転者が運転に支障は無いと報告したため、運行管理者は次の目的地までの運行を許可するとともに交代運転者を手配し次の目的地で運行を交替した。体調不良の原因は不明。	45	東京
23	3月10日 8:20頃	乗合	その他	終点に到着後、吐き気がしたため営業所へ連絡を実施した。連絡を受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は急性胃腸炎。	53	神奈川
24	3月12日 4:30頃	貨物	その他	高速道路を走行中、突然吐き気と腹痛を感じたため、一旦SAで吐いたところ楽になったことから運行を再開した。しかしながら、再び吐き気と下痢の症状が出始めたため、PA・SA等のトイレで用を足しながら運行を継続し、一旦仮眠を取るも回復しなかったことから、運行管理者に状況連絡を実施した。運行管理者は運行継続不能と判断し救急車を要請し、運転者は緊急搬送された。体調不良の原因はウイルス性胃腸炎。	53	千葉
25	3月15日 9:30頃	乗合	その他	終点に到着した際、発熱の症状を感じたことから営業所へ無線連絡を実施した。連絡を受けた運行管理者は、運行継続困難と判断し運行を中止してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は急性副鼻腔炎。	35	埼玉
26	3月15日 11:45頃	法人	その他	7回目の営業終了後に回送を始めた直後、付近のガードレールに車両の右側面を接触させたが、その場で報告を行わず、その後も衝突・接触を繰り返しながらも走行を続け一旦営業所に帰庫した。営業所に運行管理者に接触事故を発生させた旨の報告を行った後、運行管理者の指示を無視する形で再び運行を開始し、衝突・接触を繰り返しながら走行し、電柱に衝突した反動で車両が反転し、一方通行道路を塞ぐ形で停車した。最初のガードレールに接触してから停車するまで約1.4kmを走行し、衝突及び接触箇所は19カ所であった。停車後、運転者は救急搬送され、新型コロナウイルス感染症に罹患していたことが判明した。	69	神奈川
27	3月18日 11:25頃	貨物	心疾患	配車地で荷積み後、次の目的地に向け高速道路を運行中、事故渋滞により約20km/hで走行していたところ、ICより合流してきたトラックに進路を譲った直後に当該トラック後部に接触、そのまま蛇行を繰り返しながら進出した後、側壁及びガードレールに複数回衝突を繰り返し、最終的に左ガードレールに衝突して停車した。当該運転者は意識不明の状態緊急搬送され、搬送先の病院で死亡が確認された。死因は心筋梗塞。（運転者死亡）	50	神奈川
28	3月19日 4:50頃	貨物	脳疾患	一般道を走行中、徐々にふらつき始め左側ガードレールに接触し、その後も不安定な走行状態を続け約1.3km先の路側帯に停車した。運転者は暫くキャビン内で動いていたが意識を喪失し、接触事故の目撃者による110番通報で駆けつけた警察官に発見され、警察官が要請した救急車で搬送された。原因は頭部左側の脳出血。	56	神奈川
29	3月19日 6:39頃	乗合	その他	路線バスが運行中、運転者は突然強い吐き気を感じたため、車両を路肩に停車させ、営業所に連絡を行った。連絡を受けた運行管理者は、運行中止を判断しその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は不明。	42	東京
30	3月28日 2:44頃	法人	その他	乗客を乗せ高速道路を運行中、意識が混濁した状態に陥り、合流する箇所の左カーブで右側壁に衝突し、そのまま約10分間意識が混濁した状態で走行した後、高速道路を降りる左カーブで再度右側壁に衝突し停止した。運転者および乗客に大きな怪我がなかったことから救急搬送等はなかった。意識混濁の原因は糖尿病治療のための血糖を下げる薬剤の過剰接種による低血糖意識障害。	61	東京
31	3月28日 12:10頃	貨物	その他	納品先にて納品を終え、東京外環自動車道(内回り)第一通行帯を約75km/hで走行中、当該運転者は急な発作により意識を喪失し運転不能となり、第二走行車線を走行する車両に接触し、更に中央分離帯防護柵へ相次ぎ接触した後、接触した反動で路肩方向へ流され側壁へ接触したところで意識を取り戻し停車した。この事故による怪我人はいなかったが当該運転者が意識障害原因追求のため救急搬送された。意識喪失の原因は直前のPAIに休憩のため進入するも満車のため駐車できず、また縁石にタイヤを擦ったことにより持病のパニック障害の発作(過呼吸)が発症したものの。	45	千葉

32	4月1日 11:00頃	貨物	脳疾患	一般道を走行中、当該運転者は体調が悪くなりそのまま意識を喪失し、右側の中央分離帯に接触、一旦停車したがクレープ現象でゆっくり前進、前方に停車中の車両後部に追突し、その反動でガードパイプと接触の後、植え込みに進入し停車した。意識喪失の原因は脳内出血。	55	東京
33	4月3日 14:15頃	法人	脳疾患	営業所への帰庫の途中、運転者が意識混濁状態に陥り、電柱とガードパイプに衝突した。事故発生後、運転者は事故の目撃者の通報により緊急搬送された。意識混濁の原因はクモ膜下出血。	74	東京
34	4月6日 4:30頃	貨物	脳疾患	一般道を走行中、蛇行運転の兆候が始まり、途中10分程度停車した後、道路脇の消火栓標識支柱に接触し、その後4分ほど走行し停車した。停車後、運転者は降車し反対車線の歩道に倒れ込み、立ち上がることが出来ず、苦しんでいる様子が続き、通りかかった車両の運転者がこれに気づき救急車を要請、搬送された。原因は脳出血、水頭症。	65	東京
35	4月11日 13:52頃	乗合	その他	終点に到着した際、左目の違和感を感じたことから営業所へ無線連絡を実施した。連絡を受けた運行管理者は運行を中断しその場で待機するよう指示した。違和感の原因は眼球結膜化出血。	40	埼玉
36	4月11日 16:58頃	個人	大血管疾患	出庫して間もなく体調が悪くなり、安全な場所へ止めようと進路を変更したが途中で意識が朦朧となり民家の壁に接触し道路標識を倒しながら走行した後停車した。約20分程、通りかかった歩行者が車内で苦しんでいる運転者に気づき通報、運転者は意識不明の状態に緊急搬送され、その後搬送先の病院で死亡が確認された。死因は急性大動脈解離による心臓血腫。(運転者死亡)	74	東京
37	4月14日 20:00頃	貨物	心疾患	運転者は配車地で積載していたカゴ台車の降し作業を開始しているのが確認された後、トラック庫内で倒れているところを倉庫作業員が発見した。運転者は倉庫関係者が要請した救急車で搬送されたが、搬送先の病院で死亡が確認された。死因は心筋梗塞。(運転者死亡)	61	神奈川
38	4月15日 13:30頃	貨物	その他	複数箇所への配送後、渋滞中に前車に衝突しそのまま前の車にも接触した。運転者は朝から若干気分が優れなかったが運行管理者に報告せず、運行管理者も顔色等の確認では異常なしと判断した。気分がすぐれないまま乗務を継続していたが吐き気を催してきたため次の休憩予定で報告するつもりで運行を継続した結果、渋滞に遭遇し、徐行と停車を繰り返す中で意識が朦朧としたため前方の車両と衝突した。意識が朦朧とした原因は神経調節性失神。	53	神奈川
39	4月15日 14:05頃	乗合	その他	終点に到着後、折り返し運行するために車内で待機していたところ、身体の怠さを感じたことから営業所へ報告した。報告を受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は新型コロナウイルス感染症。	32	東京
40	4月16日 10:26頃	乗合	その他	休憩のため回送中、事故発生の約6分前に体調異変に気付いたが、回送先が近いことから大丈夫だろうと停車せず走行を継続したところ、症状が悪化、意識を消失し、左前方の道路案内標識の支柱に衝突し停車した。意識喪失の原因は不明。	51	神奈川
41	4月27日 6:50頃	貸切	その他	配車地で待機中、運転者は気分が悪くなり、トイレに向かおうとした途中に意識を失い昏倒した。当該施設を巡回中の警備員が運転者を発見し救急車を要請、救急搬送された。意識喪失の原因はインフルエンザ。	58	東京
42	4月27日 8:10頃	乗合	その他	ダイヤに沿って運行中、途中の停留所通過後に急激な腹痛が発生したことから営業所へ無線で報告した。連絡を受けた運行管理者は運行を中断しその場で待機するよう指示し、運転者は病院へ搬送された。腹痛の原因は絞扼性腸閉塞。	37	千葉
43	4月27日 15:00:00	貨物	その他	車庫に向けて運行中、徐々に左側により始め、民家の塀に自車左側面を接触しながら走行した後、標識に接触して停車した。運転者は緊急搬送され死亡が確認された。死因は不明だが、内因によるものとのこと。(運転者死亡)	56	群馬
44	5月1日 7:25頃	貨物	その他	高速道を走行中、当該運転者は体調不良に陥ったことから、無線でその旨を営業所の運行管理者に報告した。報告を受けた運行管理者は運行支援システムで位置確認を行い、近くのPAにて待機するように指示するとともに交替要員の派遣等の対応を実施した。体調不良の原因は尿管結石。	39	茨城
45	5月1日 13:08頃	貨物	大血管疾患	赤信号で停車中、信号が青に変わるまでの間に発症し前車が発進した後もその場で停車したままであった。道路沿いの会社の従業員がしばらく停止したままの車両を不審に思い、運転者に声をかけたが応答がなかったことから、救急車を要請した。当該運転者は心肺停止状態で搬送され死亡が確認された。死因は大動脈解離による心臓血腫。(運転者死亡)	57	神奈川
46	5月1日 13:29頃	貨物	脳疾患	運転者が荷卸地での納品作業中、納品先の従業員が当該運転者の様子がおかしいことに気づき、声掛けをしたが応答が不明瞭であったため救急車を要請、当該運転者は救急搬送された。原因は、脳内出血。	54	神奈川
47	5月1日 22:49頃	個人	その他	運転者は、運転中に体調が悪くなり吐血した。その後、帰庫するため運行中、交差点を左折する際、ハンドル操作が不足し対向車線にはみ出した為、走行車線に戻ろうとさらにハンドルを切った結果、そのまま歩道のガードパイプに衝突した。事故を目撃した歩行者が通報し、当該運転者は救急搬送され死亡が確認された。死因は不明。(運転者死亡)	70	東京
48	5月8日 20:40頃	貨物	その他	当該運転者は1店舗目の納品を終えた時点で体調不良を自覚したものの配送を続行、次の納品先へ向かう途中に体調がさらに悪化、運転操作が困難な状態に陥った。そのため営業所へ悪寒がひどく配送が続行できない旨の報告をした。報告を受けた運行管理者は、交替要員の派遣等の対応を実施した。体調不良の原因は風邪症状。	25	神奈川
49	5月11日 18:57頃	法人	その他	高速道路を乗客1名を乗せ運行中、トンネル内に進入した後、運転者が突然意識を喪失し、側壁に擦りながら減速せずに進行、路肩の切れ目の待避路用の階段部分に接触したことにより横転した。この事故により当該運転者と乗客の合わせて2名が死亡した。運転者の死因は不明だが、内因によるものとのこと。(運転者死亡)	46	東京
50	5月14日 15:20頃	貨物	その他	当該運転者は1店舗目の納品先に到着する前から体調が悪くなり始め、到着したものの、頭痛とめまいがひどく納品作業が困難な状態であったため営業所に連絡した。連絡を受けた運行管理者は交替要員の派遣等の対応を実施した。体調不良の原因は自律神経失調症。	57	神奈川

51	5月15日 20:30頃	貨物	脳疾患	荷積地での積込作業中、左半身が痺れ力が入らないと感じていたが会社に連絡せず積込作業を継続し作業を完了後出発した。身体の違和感は消えない状態で運行していたが、高速道路を走行中に急に意識が朦朧としたため危険を感じPAに停車し営業所に報告した。意識が朦朧とした原因は脳梗塞。	50	神奈川
52	5月16日 10:20頃	貨物	心疾患	納品先にて納品作業が終了し片付けを行っている際、体調に違和感があったが特に気に留めず運行を継続したところ、高速道路入口手前付近でみぞおちに痛みを感じ車両を左に寄せ休憩するも改善しなかったことから、救急車を要請し搬送された。体調不良の原因は心筋梗塞。	53	神奈川
53	5月17日 16:51頃	法人	大血管疾患	乗客4名を乗せ実車運行中、赤信号で停車していたところ意識障害を発症、助手席に停車していた乗客が直ぐに気付キシフトをパーキングに入れ、救急と警察に通報した。当該運転者は救急搬送された病院で死亡が確認された。死因は急性大動脈解離。(運転者死亡)	52	東京
54	5月23日 10:23頃	法人	その他	空車運行中、突然体調不良となったため運転操作不能に至り、そのまま反対車線の縁石に接触しながら走行し、丁字路交差点先の電柱に衝突し停車した。この事故により運転者が左足骨折の重傷を負った。体調不良の原因は不明。	57	東京
55	5月25日 10:45頃	貨物	その他	高速道路の登坂車線のある区画の走行車線を走行中、意識を喪失したことから車線を逸脱し、登坂車線を越え路肩側ガードレールに衝突した。当該運転者は同乗者の声掛けがあるまで車線の逸脱に気づいておらず、事故直前の記憶は走行車線を走行していた記憶しかないとのこと。車両はオートクルーズ機能を使用していたため、減速はしていなかったが、事故に伴う怪我人はなし。意識喪失の原因は不明。	47	栃木
56	5月27日 13:32頃	乗合	その他	終点にて降車客扱い後、待機場へ向かい走行していた際、めまいの様な症状を感じたため、直ちに停車し運行管理者へ報告した。報告を受けた運行管理者は、予備の運転者の手配等の対応を実施した。体調不良の原因は不明。	59	神奈川
57	6月3日 13:12頃	貨物	脳疾患	配車地での待機中、当該運転者は内因により昏倒した。その後、他社運転者が車内で意識を失った状態の当該運転者を発見、当該運転者は救急搬送されたが死亡が確認された。ドラレコの映像では、待機直後より意識が朦朧としている様子が写っていた。死因はクモ膜下出血。(運転者死亡)	50	神奈川
58	6月5日 6:57頃	乗合	その他	終点に到着した際、頭の動きが鈍く体調にも違和感を感じたことから営業所へ報告した。これを受けた運行管理者は運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は急性扁桃腺炎。	36	東京
59	6月5日 13:58頃	法人	大血管疾患	片側1車線の一般道を30km/hで空車にて走行中、意識が朦朧となり道路左側縁石に乗り上げ停車した。当該運転者は病院に搬送されたがその後死亡が確認された。死因は急性A型大動脈解離。(運転者死亡)	53	埼玉
60	6月9日 11:32頃	乗合	その他	運行中に軽い吐き気を覚えるも特段の支障がないことから運行を継続したが、体調が悪化したことから運行不能と営業所へ報告した。報告を受けた運行管理者は、予備の運転者の手配等の対応を実施した。体調不良の原因は熱中症。	54	神奈川
61	6月10日 3:56頃	貨物	その他	荷積地への運行途中、交差点にて中央分離帯へ進入しガードレール、信号機に衝突した後、高速道路の橋脚へ衝突した。この事故により車両は大破、運転者が死亡した。死因は不明だが、ドライブレコーダーには当該運転者が運転中に嘔吐している様子が映っていたとのこと。(運転者死亡)	54	群馬
62	6月10日 11:06頃	貸切	その他	泊まり運行2日目、立ち寄り地に到着後、頭痛と倦怠感を感じたことから運行管理者に報告した。報告を受けた運行管理者は当該運転者の症状を聞き、現時点では運転に支障は無いとの報告であったが、症状が悪化する可能性もあると判断し交替運転者の手配等の対応を実施した。体調不良の原因は風邪症状。	62	東京
63	6月13日 15:00頃	乗合	その他	終点に到着した際、頭痛と胃のムカムカを強く感じたことから、営業所に報告した。これを受けた運行管理者は運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は風邪症状。	54	東京
64	6月16日 18:15頃	乗合	その他	営業所での休憩後、始点となるバス停に回送で到着した際、吐き気や眩暈・腹痛等を感じたことから営業所へ報告した。報告を受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示し、その後当該運転者は救急搬送された。体調不良の原因は不明。	53	埼玉
65	6月24日 11:09頃	乗合	その他	バス停からの発車後、国道本線に合流したタイミングでギアチェンジをした際、意識傷害が発生したことから運転操作を誤りエンジンストールしたため車両が後退し、後続の車両に衝突した。当該運転者によると健康状態は出勤時から事故発生直前まで異常はなかったものの、本線合流後から乗客に声を掛けられるまでの記憶がないとのこと。意識喪失の原因は意識消失発作。	67	神奈川
66	6月24日 14:45頃	法人	心疾患	昼食休憩のために自宅に向かい休憩した後、出庫しようと自宅内で立ち上がった時に目眩により転倒し頭部を強打したため営業所に報告した。報告を受けた運行管理者は速やかに救急要請するよう指示をした。体調不良の原因は急な間欠性房室ブロックによる血液循環不良。なお、頭部には異常なし。	72	埼玉
67	6月27日 13:00頃	貸切	その他	東京への回送運行途中の運転者より体調が優れず微熱があるとの連絡を受けたことから休憩をとり様子を見るよう指示をしたが、当該運転者は運行を継続し道の間違えが多くなったため、交替運転手を派遣して運転を交替をして帰庫させた。体調不良の原因はインフルエンザ。	63	東京
68	6月29日 10:45頃	乗合	その他	折り返し地点のバス停留所に乗車対応中、血の気が引いて眩暈がするような感覚に陥ったことから、営業所へ報告した。これを受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機しつつ、乗車した乗客に対し次発バスへの乗り換えを案内するよう指示した。体調不良の原因は高血圧症。	59	東京
69	7月4日 22:30頃	個人	その他	乗客2名を乗せ運行中、気分が悪くなり車両を一旦停車したが回復せず、意識を喪失した。意識喪失後、ブレーキを踏んでいる足が緩み、そのまま車両が100m程進行して民家の門扉に衝突し停止した。意識喪失の原因は不明。	61	東京
70	7月5日 12:00頃	貨物	その他	荷卸現場での作業中、体調不良となったところ、現場に居合わせた現場作業員が当該運転者の異変に気付キ、声掛けやペットボトルの水を渡したが明確な反応が得られなかったため、冷房の効いた作業員詰所に誘導し病状の回復を図ったが症状が回復する兆しがなかったことから、救急搬送された。体調不良の原因は熱中症。	54	東京

71	7月6日 12:02頃	貨物	その他	荷卸地での作業を終え出発した直後、倉庫を出て200m～300m程の交差点を右折した際、運転者は意識を喪失し、センターラインをはみ出して反対車線歩道縁石に乗り上げ停車した。この事故により運転者は病院に搬送され死亡が確認された。死因については不明。(運転者死亡)	54	茨城
72	7月9日 18:09頃	乗合	その他	休憩予定地に到着後、体調に違和感を感じたことから営業所へ報告した。これを受けた運行管理者は、直ちに運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は風邪症状。	50	埼玉
73	7月10日 22:41頃	貨物	その他	高速道路を走行中、腹痛が発生、その後吐き気を催してきたため、これ以上は危険と判断し、PAに停車した。その後、夜間点呼者へ体調不良(吐き気)の報告と救急車の要請を依頼し当該運転者は救急搬送された。体調不良の原因は不明。	57	千葉
74	7月11日 13:29頃	法人	大血管疾患	空車運行中、片側2車線の一般道路の第1通行帯を走行していたところ、突然意識を喪失しアクセルを踏み込んだ状態となり、ガードレールや複数の車両と衝突しながら走行を続けた後、左側歩道上の街路樹に衝突し停止した。この事故により当該運転者は病院に搬送され死亡が確認された。死因は大動脈解離。(運転者死亡)	76	東京
75	7月13日 9:04頃	貨物	その他	当該運転者は最初の目的地へ向かって走行中、手足に痺れが生じた為、近くにあったコンビニ駐車場に車両を停車させ営業所へ報告をした。報告を受けた運行管理者は、報告内容から運行継続不可と判断し、交替運転者の手配等の対応を実施した。体調不良の原因は不明。	42	埼玉
76	7月18日 17:17頃	乗合	その他	運行経路途中のバス停を発車した付近で体調に異変(腹痛)を感じたが、一過性の異変か判断に迷い、また、運行中止する場合でも先のバス停であれば他ルートのバスが運行しており、又、バスペイが広く乗客の乗換えに適していると判断したことから運行継続したところ、目的のバス停130m手前で意識が薄れ、車線をはみだし対向車に衝突した。この事故により当該運転者は救急搬送され、対向車の乗員が軽傷を負った。体調不良の原因は神経調節性失神の疑いとのこと。	62	千葉
77	7月20日 14:55頃	法人	その他	15回目の乗客降車扱い後、頭痛を感じたことから停車して休憩をしていたが、体調が回復せず運行の継続が不可能と判断して営業所へ報告し救助を求めた。報告を受けた運行管理者が現場に向かい、当該運転者は救急搬送された。体調不良の原因は不明。	38	東京
78	7月22日 8:58頃	法人	その他	乗客1名を乗せ片側2車線の一般道を約25km/hで走行中、第2通行帯に停止してた車両と第1通行帯の駐車車両との車両間隔を見誤り、第1通行帯に駐車していたトラックの荷台あおりの金具部分に自車の左フェンダーミラーが接触した。事故発生直後、当該運転者は運行を中断するとともに乗客に体調不良を訴え上を向いたまま運転席ドアに倒れ込みけいれんを起こしたため救急搬送された。体調不良の原因は事故を起こしたことに対するストレスが疑われるとのこと。	38	東京
79	7月22日 10:04頃	貨物	その他	荷卸地から荷積地へ向かうため約30km/hで空車状態にて走行中、高速道路ETCレーンへ差し掛かる手前で身体の異変に気付いたためETCレーン通過直後、ハザードランプを点滅させながら左側端に停止した。停止後、自ら119番通報を行い、救急搬送させた。体調不良の原因は不明だが、普段から血圧が高かったとのこと。	55	埼玉
80	7月22日 22:22頃	法人	その他	都内各所で営業を行っていたところ、体調不良となったことから営業所に早退する旨を伝えたが、状態が悪化したことから再度営業所に連絡した上で自ら119番通報を行い、救急搬送させた。体調不良の原因は尿管結石。	63	東京
81	7月26日 10:05頃	貨物	その他	納品作業中、めまいがした為、当該運転者は少し休んでから配達をする旨を営業所へ連絡した。しばらく休息を取っても回復せず、さらに体調が悪化した為、再度営業所へ連絡した。連絡を受けた運行管理者は報告内容から運行継続不可と判断し、交替運転者を向かわせる旨を伝え、現地で待機するよう指示をした。体調不良の原因は熱中症。	28	群馬
82	8月3日 2:30頃	乗合	その他	高速道路PAIに到着した運転者より、お腹周りから背中にかけての痛みと脂汗が噴出している旨の連絡があった。このため、途中のSAで運転者の交替を実施した。体調不良の原因は結石。	46	東京
83	8月3日 15:45頃	乗合	その他	次の運行までの待機中、発熱による体調不良のため運行不能と営業所へ報告した。報告を受けた運行管理者は、予備の運転者の手配等の対応を実施した。体調不良の原因は熱中症。	43	神奈川
84	8月8日 6:55頃	乗合	その他	次の運行までの待機中、体調不良により運行不能と営業所へ報告した。報告を受けた運行管理者は、予備の運転者の手配等の対応を実施した。体調不良の原因は食物アレルギー。	31	神奈川
85	8月9日 13:10頃	乗合	その他	乗客21名を乗せ高速道路を走行中、突如運転者が意識を喪失し運転操作不能に陥ったため、当該車両は左右側壁への衝突と蛇行を繰り返した後、乗客によるブレーキ操作により停車した。停車後、乗客の呼び掛けにて運転者の意識が回復したため、車両を路肩寄りの位置に動かし停車させた。意識喪失の原因は不明。	53	東京
86	8月11日 9:05頃	乗合	心疾患	運行途中のバス停車前あたりから胸部付近に痛みを感じたことから運転者は運行継続困難と判断し、次のバス停に到着後、営業所に連絡、乗車していた4名の内、上記バス停で下車した1名を除く3名に対してこの先の運行ができないので代車を手配する旨を説明した。連絡を受けた運行管理者は直ちに予備運転者の手配等の対応を実施した。体調不良の原因は急性心筋梗塞。	50	東京
87	8月12日 12:19頃	乗合	その他	運行途中のバス停を通過、ラムコーダを操作したのちに徐々に意識が朦朧としはじめ、対向車線側にはみ出し、駐車中の軽自動車及び電柱に衝突し停止した。この事故により乗客1名が軽傷を負った。意識が朦朧とした原因は脱水症状。	34	千葉
88	8月12日 13:38頃	法人	心疾患	10回目の営業運行中、左胸に違和感を感じたが営業を続け、降車予定の病院で乗客降車後、安全な場所に移動して停車した。居合わせた救急隊員に胸の痛みを訴え、診療を受けた結果入院となった。体調不良の原因は心筋梗塞。	52	東京
89	8月14日 13:00頃	乗合	心疾患	空港アクセスバスを運行中、空港ターミナルへ到着し13名の乗客の降車扱い及び荷物扱い中に突然意識を失い救急搬送された。意識喪失の原因は狭心症。	50	東京

90	8月16日 7:26頃	乗合	心疾患	片側1車線の対面道路を約40km/hで運行中、運転者はやや前傾姿勢になり胸を手で押さえるなどだれた状態となり、徐々に対向車線にはみ出していき、対向のトラックの荷台付近に自車右ミラーを接触させた後、そのまま徐々に加速しながら走行を続け、道路右側の畑に設置してある電柱に正面から衝突し停車した。この事故により、乗客1名が重傷、乗客1名が軽傷を負った。当該運転者は搬送先の病院で死亡が確認された。死因は急性心不全。(運転者死亡)	65	千葉
91	8月18日 21:16頃	個人	その他	乗客1名を乗せ運行中、信号機のある交差点を右折しようと右折レーンに停止していたところ、突然意識を喪失した。意識喪失後、車両はクリープ現象により発進、交差点先ガードレールに接触した。すぐに意識が回復し乗客を目的地まで送り降車扱いしたが気分が悪くなったため車両をコインパーキングに入れ救急要請を行った。意識喪失の原因は不明。	67	東京
92	8月22日 19:26頃	乗合	その他	折返場に到着した際、倦怠感・喉の痛み及び寒気を感じたことから、営業所へ報告した。これを受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は新型コロナウイルス感染症。	38	埼玉
93	8月24日 1:00頃	個人	脳疾患	帰庫するため県道を走行中、途中で気分が悪くなり、その後、意識喪失をした。意識喪失後も車両は走行を続け数十メートル先の道路左側の民家とカーブミラーに衝突した。当該運転者は、後続車の運転者による救急要請により搬送された。意識喪失の原因は脳梗塞。	76	千葉
94	8月25日 15:40頃	乗合	その他	終点到着後の折り返しの待機中、体調不良を感じたことから営業所へ次発の運行が来ない旨を報告した。連絡を受けた運行管理補助者は運行管理者による指示を受けたうえで運行中止を了承、待機を指示し、交替運転者の派遣等の対応を実施した。体調不良の原因は不明。	49	東京
95	8月26日 13:48頃	乗合	その他	乗客を乗せ運行中、バス停留所に通過した後、意識が朦朧となり片側1車線の道路左側に寄り過ぎてしまい、それに気が付きハンドルを右転舵することにより回避を試みたが間に合わず、道路左側に建柱されていたコンクリート製電力柱に衝突し停車した。この事故により乗客1名が軽傷を負った。体調不良の原因は熱中症及びSASの疑いがあるとのこと。	56	千葉
96	9月1日 9:34頃	貸切	その他	目的地に到着、乗客降車後、現地駐車場で仮眠休憩に入る際に急さを感じ、熱を計ったところ38度あったため、営業所へ連絡。運行管理者の指示により交代運転者の手配があり、乗務を交代した。体調不良の原因は扁桃炎。	57	東京
97	9月5日 19:20頃	貨物	その他	遠隔地での電話による業務前点呼の際に、運転者より「肩が動かない。身体の身動きが取れず、寝返りが出来ないの、運行が出来ない。」と報告があったため、救急車を呼ぶよう指示するとともに、荷主へ体調不良による欠車の連絡を行った。体調不良の原因は胸郭出口症候群。	51	千葉
98	9月6日 11:46頃	法人	心疾患	乗客を乗せ運行中、運転者が意識を喪失、シフトレバー辺りに倒れ込み、車体はゆっくりと右斜めに走行し中央分離帯に乗り上げ、その後約40m位で停車した。運転者は病院へ救急搬送された。意識喪失の原因は拡張型心筋症による不整脈。	58	東京
99	9月13日 14:03頃	貨物	脳疾患	荷物の積み込み後に納品先に向け運行中、体調が悪くなったためハザードを付けて左に寄せて停車した。後続を走行していた別の運転者は体調不良だと気付かず納品先へ先に向かったものの、納品先近傍で5分程度待機しても当該車両が来ない事を不審に思い停車していた場所に戻った。助手席側より声をかけたところ、当該運転者が意識朦朧となっていたことから運行管理者に連絡し、救急車を手配した。その後病院へ搬送され、脳梗塞と診断された。	64	栃木
100	9月14日 4:50頃	貨物	脳疾患	「運行中の車両が中央分離帯に乗り上げ、事故を起こしている」と警察から営業所に連絡があり、管理者が急いで現地へ向かったものの、運転者は既に病院に搬送後だった。事故に至った原因は、脳梗塞に伴う手足の麻痺。	61	東京
101	9月14日 7:42頃	乗合	その他	最初の運行を終え駅前ロータリーで待機中、体調不良を感じ営業所へ無線連絡した。連絡を受けた運行管理者は運行中止及び待機を指示し、交代運転者を現場へ派遣した。体調不良の原因は一過性の低カリウム血症の疑いとのこと。	47	東京
102	9月17日 19:22頃	乗合	その他	乗客を乗せ運行中に停留所で停車していたバスの運転者から、「手にしびれがある」と無線で報告があったため、運行管理者が運行中止を指示した。その後、乗客を後続車に乗換案内し、当該運転者を管理者の運転で営業所に移動させた。終業点呼の際に、「左手足のしびれや目眩がした」との申告であったことから、医療機関の受診を指示した。体調不良の原因は不明。	36	東京
103	9月18日 7:26頃	乗合	その他	運転者は当日、数回の路線運行を行った後、終点に到着した際に悪寒を感じたことから営業所へ電話連絡した。これを受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は胆石、慢性胆嚢炎。	33	埼玉
104	9月18日 13:36頃	乗合	その他	終点での降車扱いを終え、回送にて車庫へ入庫するため出発したものの、緩いカーブで左に逸れて歩道に乗り上げたのち、地上機器(トランスボックス)と交通量検知機器の支柱および街路灯の支柱に衝突して停車した。一時的な居眠りによる前方不注意が原因。	24	東京
105	9月23日 10:51頃	乗合	その他	乗客を乗せ運行中、バス停にて乗降客扱いのため停車中、腹痛の症状を感じたため運行管理者へ報告し、交代運転者と運転を交代した。体調不良の原因は細菌による腹痛とのこと。	52	神奈川
106	9月27日 13:14頃	乗合	その他	空車状態で運行中、交差点の手前で運転者は突然意識を喪失、約40km/hから速度を上げながら左カーブをそのまま直進するかたちで、反対車線側にはみ出し、約50m先の交差点内、対向車線側の歩行者用信号柱に約49km/hで衝突し停車した。運転者は衝突直後に意識は回復し、営業所へ携帯電話で報告した。この事故により当該運転者が軽傷を負った。意識喪失の原因は不明。	55	千葉
107	10月9日 0:07頃	法人	心疾患	乗客の降車扱い後、空車で2分程度走行したところで、体調に異変を感じたため停車した。その後、更に体調が悪化し意識を喪失すると同時に、足を踏ん張った状態となりアクセルを踏み込んだため、当該車両が発進し街路樹に衝突し停止した。当該運転者は救急搬送されたが、その後病院で死亡が確認された。死因は突発性心室細動。(運転者死亡)	57	東京

108	10月18日 7:20頃	乗合	その他	運行を開始するまでの時間調整のため営業所に回送入庫した際、体調がすぐれないと感じたことから、営業所へその旨を直接報告した。これを受けた運行管理者は、運行を中断するよう指示した。体調不良の原因は感染性腸炎。	56	埼玉
109	10月23日 18:30頃	貨物	脳疾患	高速道路を走行中、渋滞で停止していたところ病気が発症し、意識が朦朧となり、クレープ現象により車両が走り始め左壁面に当たりながら数十メートルを走行の後、左前タイヤのバーストと損傷により停車した。意識喪失の原因は右脳被殻出血。	54	埼玉
110	10月25日 15:02頃	貸切	心疾患	帰庫するため回送中、具合が悪くなり始めたが、車の往来が激しい通りであったため、道幅が広い道路まで移動しようと運転を継続したところ、意識が混濁し始め運転操作を誤りガードレールや乗用車と接触した後停車した。この事故により乗用車の乗員2名が軽傷を負った。体調不良の原因は急性心筋梗塞。	57	東京
111	10月26日 18:00頃	乗合	その他	一般道を運行中、バス停にて乗客の乗降扱いを終え発車しようとした際、強い息苦しさを感じたため、乗客へ状況を説明し、運行管理者へ報告した後、運行中断となったもの。体調不良の原因は過呼吸によるものとのこと。	49	神奈川
112	10月30日 12:30頃	貸切	その他	運行計画に沿って運行中、休憩中の運転者より「急に腹痛を催した」との報告があった。連絡を受けた運行管理者は、運転者より「胆石の持病があり今回の原因もそれらしい」との申告、並びに聞き取り状況等を総合的に判断し現地での待機を指示するとともに交替運転者の手配等の対応を実施した。体調不良の原因は胆管結石。	61	茨城
113	11月2日 8:12頃	貨物	その他	配車地に到着後、当該運転者は体に違和感を感じたことから営業所に「左手に痺れがある」と報告した。納品先の職員が119番通報、救急車の手配を行い当該運転者は病院に搬送された。体調不良の原因は左頭骨神経麻痺。	55	埼玉
114	11月2日 10:36頃	貨物	心疾患	荷卸地にて荷卸し作業及び休憩後、再度荷積みのため運行中、片側1車線の一般道を時速40km程度で走行していたところ、前方車列が渋滞で減速したため当該車両も減速し、停車直前にシフトレバーを操作してギアをニュートラルに入れた直後、突然意識を喪失し、助手席側に倒れこんだ。ギアがニュートラルであったこと、車両が停止直前の速度まで減速されていたことにより、車両はそのまま停車した。意識喪失の原因は急性心不全とのこと。	21	栃木
115	11月6日 7:14頃	法人	その他	運転者は朝に始業前点呼を受け出庫、途中休憩を挟みながら運行、21時頃に乗客を降車後、休憩をしていた。翌朝6時過ぎになっても運転者が帰庫していない事が分かり電話をしたが出なかったことから、無線局に連絡をして近くの運転者が現場を確認したところ、様子がおかしかったことから救急要請を実施し、駆けつけた救急隊により当該運転者の死亡が確認された。死因は不明。(運転者死亡)	64	東京
116	11月8日 9:58頃	貸切	その他	運行計画に沿って運行中、途中走行中に右目の視界に黒い斑点がちらつきだした斑点が霧に変わり広がってきたため営業所に報告した。運行管理者は当該運転者の症状を確認、運転の継続は困難と判断し、交代運転者等の手配を実施した。体調不良の原因は眼底出血。	49	東京
117	11月9日 9:17頃	乗合	脳疾患	回送にて営業開始場所に向かう途中、急に体調不良を感じ路上に停車、営業所へ電話にて「左半身が腫れて運転できそうにない」と報告した。運行管理者は、連絡を受け直ちに交替運転者等2名を派遣、当該運転者は救急車で病院へ搬送された。体調不良の原因は脳梗塞。	51	千葉
118	11月10日 21:30頃	特定	その他	所定の運行表に基づき運行していたが、20時過ぎ頃から道路渋滞が発生し、予定より20程度遅れて到着、バス停での乗車案内を終え再び運転席に戻り、21時30分頃、乗客を乗せ発車の準備をしようとした際、急に過呼吸の状態になり、直ぐに営業所に報告を行いその場で運行を中断した。体調不良の原因は、バス停にて乗車案内をしていた際、待っていた乗客より遅延したことによる罵声を浴びせられたことにより動揺してしまい、過呼吸に陥ったもの。	49	千葉
119	11月14日 11:45頃	法人	脳疾患	交差点を左折したところで突如頭を抱え朦朧として運送の継続ができなくなった。乗客が救急車を手配、当該運転者は病院に救急搬送された。体調不良の原因は脳内出血の可能性とのこと。	75	東京
120	11月19日 13:12頃	乗合	その他	折り返し運行のためバス停で待機している際、眩暈のような症状を感じたことから、営業所に報告した。これを受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は眩暈。	55	東京
121	11月28日 4:20頃	貨物	その他	高速道路を運行中、動悸がした為、PAに入り休憩をしたが、回復しなかったことから、当該運転者は自ら救急車を要請し病院へ搬送された。体調不良の原因は不明。	55	栃木
122	11月28日 17:50頃	乗合	その他	一般道を運行中、関節の痛みと熱っぽさを覚えたことから、終点に到着した際に営業所に報告した。これを受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は急性上気道炎。	58	東京
123	11月29日 11:56頃	貨物	その他	場内積み込み作業を終え納品先へ出庫、出庫後まもなく腹部に違和感を感じたが運行を継続したところ、腹痛がひどくなったため路肩に停車し運行管理者へ報告した。これを受けた運行管理者は、交代運転者と共に現地へ向かうなど対応を行った。体調不良の原因は不明。	40	東京
124	11月29日 13:24頃	貨物	心疾患	高速道路を走行中、突然意識喪失し左側に寄り防護壁に接触した。車両はそのまま追い越し車線側に進路を変え走行、追い越し車線を並走中の乗用車と接触した後、中央分離帯に接触した。その後、車両右側面を中央分離帯に接触させながら約20分間走行を続け、駆けつけた高速警察隊の隊員の対応により車両が停止した。この事故により運転者が救急搬送され病院で死亡が確認された。死因は急性心筋梗塞。(運転者死亡)	63	神奈川
125	11月30日 15:07頃	乗合	その他	次の運行までの待機中に体調不良に陥ったことから運行不能と営業所へ報告した。これを受けた運行管理者は交替の運転者と現場に駆けつけたところ、当該運転者は意識は清明であり、歩行も可能であることから救急搬送は不要と判断、当該運転者は社用車にて営業所へ連れ帰った。体調不良の原因は急性気管支炎。	54	神奈川
126	12月2日 11:23頃	貨物	心疾患	運転者は納品先に到着したところで突然何等の原因で意識を喪失し、時速8～10km/hの低速で先方事務所前の駐車車両2台を巻き込みながら事務所建屋に衝突し停止した。運転者は心肺停止の状態でドクターヘリにて病院へ搬送されたが4日後に死亡が確認された。死因は原因不明の突然の心停止(心不全)とのこと。(運転者死亡)	73	群馬

127	12月2日 13:40頃	貨物	心疾患	午前中の配達が4件あり、その内の1件の荷卸し先で体調不良となったが、時間指定があるため集配業務を優先し、業務を継続した。配達が4件、集荷が2件終了したところで、路上で79分ほど休憩を取り、集配を再開した。1件の集荷を終え、次の顧問先へ向け、一般道を30km/hで走行中、信号を左折した直後に意識を喪失、車両は自走を続け、道路右側の民家の生け垣に衝突し停車した。当該運転者は衝突の衝撃で意識を取り戻し、周囲を確認したところ事故を起こしたことを認識し、周囲に負傷者がいないかを確認、警察、救急、会社への報告を行った。意識喪失の原因は除脈頻脈症候群。	58	埼玉
128	12月6日 11:00頃	貸切	その他	運行管理者は前日公休の当該運転者と電話にて話をした際に、少し風邪気味であるが大丈夫との会話をしていたことから体調が気になり、目的地で待機中の当該運転者に連絡をしたところ、出庫後体調が優れず悪化してきていると報告があった。運行管理者はこれを受け、交代運転者の手配等の対応を実施した。体調不良の原因は風邪症状。	35	千葉
129	12月9日 19:50頃	乗合	その他	一般道を運行中、熱っぽさを覚えたことから、終点に到着した際に営業所に報告した。これを受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は新型コロナウイルス感染症。	41	東京
130	12月10日 10:10頃	乗合	その他	一般道を運行中、終点に到着した際、腹痛及び手足の痺れを覚えたことから、営業所に報告した。これを受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は尿管結石。	41	埼玉
131	12月10日 13:07頃	乗合	その他	運行計画に沿って運行中、目的地で乗客の降車扱い後、体調不良を感じたことから営業所へ報告した。この時点で、体温測定を行ったところ37.6℃の発熱であった。連絡を受けた運行管理者は交代運転者を派遣し、運転者の交替を実施した。体調不良の原因はインフルエンザ。	34	東京
132	12月10日 14:48頃	貨物	その他	営業所での休憩後、配達先に向かい外階段で高さ3階程の納品場所に重さ1個約5kgの荷物を5個ずつ持って5往復して配達した。息を切らしながら荷卸しを終え車両に乗り込み発進、一時停止していた他車を確認した為、一時停止を行うも突然体調が悪化し車内で倒れ込みその拍子にブレーキから足が離れ約20m自走し金網フェンスに衝突し停車した。運転者は衝突の衝撃で意識を回復し責任者に事故を報告した。意識喪失の原因は酸欠の可能性とのこと。	58	群馬
133	12月12日 18:28頃	貨物	その他	最終の納入先から帰庫途中、当該運転者は高速道路PAにて休憩していた。当該車両の帰庫が遅いため、運行管理者が車両の動態を確認したところ、PAに止まったままの状態であったため、乗務員の携帯電話に連絡するも繋がらず、折り返しの連絡もなかった。このため運行管理者は付近を運行していた別の運転者に連絡し、PA内を探索するよう指示した。PA内を探索していた運転者が男性トイレの個室に連絡が取れなくなっていた運転者が倒れているのを発見し、PAの職員に伝え、救急要請、到着した救急隊員が倒れていた乗務員の状態を確認したところ、心肺停止の状態で亡くなっていることが確認された。死因は不明。(運転者死亡)	52	千葉
134	12月16日 19:21頃	乗合	その他	バス停留所にて乗車扱いを開始したところ、倦怠感と寒気を感じたことから営業所へ報告した。営業所の運行管理者の指示により、乗客と外で待っていた乗客に対して後続車両への乗り換えを案内し運行を中断した。体調不良の原因はインフルエンザ。	56	東京
135	12月17日 7:32頃	貨物	脳疾患	配車地での納品作業を終え出発後、朝日の光が眼に入り右眼の視界が太陽光の残像で見えづらくなったが、直ぐに回復するものと思い運行を続けたが、なかなか回復しない事に異常を感じ、高速道路のPAに停車した。しばらく様子を見るが回復せず、左半身の痺れも出てきたことから営業所に報告した。体調不良の原因は一過性脳虚血発作(TIA)。	52	埼玉
136	12月17日 21:55頃	貨物	その他	一般道を運行中、側道から本線への合流路において、本線と側道の間の防音壁(分岐点)に正面から衝突した。この事故により当該運転者が死亡した。死因は不明だが、突発的な身体の変調が疑われるとのこと。(運転者死亡)	60	東京
137	12月18日 10:14頃	乗合	その他	次発まで待機場所にて停車していたところ、胸部から痛みを感じたため運行管理者へ報告後、運行中断し救急搬送された。体調不良の原因は肺炎。	51	神奈川
138	12月19日 19:23頃	特定	その他	一般道を運行中、交差点の手前において、突然何らかの原因により意識喪失し、右折待ちで停車していた車両に追突し停車した。この事故により追突された車両の運転者が軽傷を負った。意識喪失の原因はダンピング症候群の可能性とのこと。	67	神奈川
139	12月21日 12:43頃	乗合	その他	運行計画に沿って運行中、目的地で乗客の降車扱い後、体調不良を感じたことから営業所に報告した。この時点で、体温測定を行ったところ37.4℃の発熱であった。連絡を受けた運行管理者は交代運転者を派遣し、運転者の交替を実施した。体調不良の原因は、インフルエンザ。	58	東京
140	12月21日 17:45頃	乗合	心疾患	終点に到着後、胸に痛みを感じたことから、営業所に報告した。これを受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因は心筋梗塞。	60	東京
141	12月23日 7:45頃	乗合	心疾患	始業前点呼時には健康状態に異常はなかったものの、運行開始後まもなく無線で体調不良の申告があったことから、運行管理者が交替運転者を乗せ応急車で向かい当該運転者と運転を交替させたもの。体調不良の原因は急性心筋梗塞。	55	神奈川
142	12月25日 8:28頃	貨物	その他	一般道を走行中、一旦停止から発進した際、突然意識を喪失しガードレール及びフェンスへ衝突した。事故発生後、当該運転者は意識を回復し営業所へ連絡するとともに救急要請を行い、病院に搬送された。意識喪失の原因は新型コロナウイルス感染症。	60	神奈川
143	12月26日 7:25頃	貨物	その他	一般道を走行中、交差点を左折したところで急に身体にだるさと熱っぽさの症状が出て意識が朦朧とし始めたため、車輛を停止させようとしたが電柱に衝突して停車した。体調不良の原因はインフルエンザ。	68	神奈川
144	12月26日 10:57頃	法人	その他	運行中に悪寒を自覚したため一旦休憩しようとPAで休憩。30分～1時間程度休憩したが回復しなかったことから営業所に「休んで帰ります」と報告した。運転再開するも1時間程度走行したところで頭痛と眩暈が発生したことから停車し、救急要請を行い搬送された。体調不良の原因はインフルエンザ。	62	東京

145	12月27日 7:20頃	貨物	その他	納品先での納入作業後、倉庫出口付近を走行中、突然意識を失い、一旦は停止したものの、ブレーキが緩み再度発進、倉庫敷地内から車道を超えガードレールへ衝突した。事故発生後、当該運転者は意識を回復し営業所へ連絡し以後の運行を交替した。意識喪失の原因は不明だが、事故当日は高血圧のため処方されていた血圧を下げる薬を飲み忘れていたとのこと。	50	東京
146	12月27日 12:38頃	乗合	その他	ダイヤに沿って運行の途中、体調に違和感を覚えたことから、バス停留所にて停車し営業所に報告した。これを受けた運行管理者は、運行を中断してその場に待機するよう指示した。体調不良の原因はインフルエンザ。	28	東京
147	12月27日 19:13頃	乗合	その他	当該運転者は、運行管理者による始業前点呼(喉に痛み、運行支障なし相互確認)を受け出庫、その後ダイヤスターフに沿って運行。高速のJCT手前で急に意識レベルが低下したことから運転不能状態となり、車線を跨ぎ左側壁に接触した。異変に気付いた乗客が運転者に駆け寄り肩を叩いたが応答なく、更に車線を跨ぎ右側壁に接触した。他の乗客2名も運転席に駆け寄りブレーキをかけ減速、そのうち1名が大型免許を取得していることから運転者に代わり緊急にバスを高速道路の路肩に停車したもの。この事故により運転者及び乗客2名が救急搬送され、乗客1名が軽傷と診断された。意識喪失の原因は新型コロナウイルス感染症。	48	千葉